

## 第2章

神との悪い関係から生じる絶望

「之に由りて神の子と悪魔の子とは明かなり。おほよそ義を行はぬ者および己が兄弟を愛せぬ者は神より出づるにあらず。」

(ヨハネ第一書3章10節)

○教師の皆様、ここにこの授業のあなたの目的があります。

- 1.あなたの最初の目的は、神の者とそうでない者との間に鮮明な違い、著しい懸隔があるという考えを、あなたの生徒が擲んでいるか観る事です。あなたがこの立場を確立する議論を発展させる時、この違いと懸隔は、人間の観察ではたやすく見えない、という事を強調する必要があります。
- 2.あなたの第二の目的は、あなたの生徒の心の内に、神の子でない全ての者の為の、恐るべき永遠にわたる、将来の審きの現実性を確立する事です。
- 3.あなたの第三の目的は、誰も神に対する自分自身の関係を変える事が出来ない点を、聖書から証明する事です。
- 4.この授業でのあなたの最後の目的は、神との悪い関係は、神の御介入を別にすると、絶望的である、という点を示す事です。

○主題、意図と適用

教師の皆様、再度この主題、意図と適用を学ぶ事の大切さを覚えて下さい。学んで下さい。単に繰り返すではありません。諸真理をあなた自身の言葉で説明出来るようにしっかりとそれを理解する事です。

主題

「神との悪い関係から生じる絶望」

意図

神との関係を持たない人は、自分自身を救う事の出来ない永遠に不幸な状態にあります。

適用

生徒に、行いは神が世を二つの区画に分けられる基準ではない、という事実を理解させる

事です。また神のみことばから、神との関係のない人は無力で、自分からその関係に持つてゆく事は出来ない、という点を示す事です。

## ◎第二課の提示

いつでも家に近づき、中で振る舞う時は敬意を持つように。丁寧に、リラックスした、気楽な気持ちでいなさい。それがあなたの生徒に、受入れ、開放、学びの調子や雰囲気をもしだすからです。それは努力が成功する為に、大変大切な事なのです。しかし何事も決して当然だと思わない事です。またあなたの生徒に、あまり慣れなれしくしてもいけません。尊敬しなさい。あなたは招かれた客なのです。丁寧に、好ましい、肯定的な雰囲気を保つよう心掛けなさい。

短い挨拶の後、まっすぐ教えるテーブルに行きなさい。そのテーブルに就くまでは、決して座り込んではいけません。最初の挨拶も三～五分を越えてはいけません。あなたの生徒は、あなたが教える為に来ている事を知っており、そのつもりでいます。開始の挨拶はあたたかく、誠実なものであるべきです。先週会ってからどう過ごしてきたか尋ね、浮かんできそうな他の事柄については、短い討論をきなさい。でもテーブルに就いて、第二課を始められなければ、それを教える一時間の中に食い込む事になりますから、時間の約束を破る結果になります。

いったん教えるテーブルに就いたら、あなたの生徒が保管しておく事になっていた図表をひろげ、あなたの聖書（そして生徒のもの）をテーブルに置いて下さい。それから少しの間、先週の授業のおさらいをして下さい。それが非常に大切なのです。それは前回のものについての生徒の記憶を新鮮にし、あなたが自然でスムーズな進行とつなぐ、あるいは結び付ける事を可能にします。生徒があなたのおさらいを理解したら、すぐに終えて新しい題材に進むのです。あなたはこれを自分の教えでは、自然にかつ容易に出来るよう研究しておくべきです。

私はあなたに次の事を銘記しながら、おさらいを始める事を勧めます。すなわち全ての学びにおいて、私達の目的は、神のされるやりかたで物事を見る事であり、私達がそれをすべき唯一の正当なやりかたは、聖書を通してである、という事です。あなたの生徒に以下の事を銘記させて下さい。すなわちあなたが既に、聖書は神の靈感による書であるという証拠を論じた事、その事実にかんがみて、あなたがこの学びにおいても聖書に留まり、単



なる教派の立場でなく、聖書の立場を確立しようとしている事です。さらに聖書によれば神はすべての人類を二つの基本的な区画あるいはグループに分けられた、という事です。

【今神が二つの基本的なグループをどう比較対照しておられるか、を示す為に時間を過ぎなさい。

#### A この比較対照の発展のさせかた

1 私は個人的には、進行に従い、論点の両側面を逐一調べながら、二つの欄を追ってゆくのが、ずっと自然で効果的だと考えています。例えば、私は失せた状態と救われた状態（各欄の最初の記入事項）を十分比較対照してから、罪を定めると義とする（各欄の二番目の記入事項）の比較対照に移ります。欄2を始める前に、欄1のすべてを発展させる事は、あなたが対応する欄2の事項に戻るまで、生徒にあなたが欄1の各項目について言った事を覚えておくよう要求することになります。なみの生徒の記憶範囲に、無理がかかります。その為あなたは欄1の各項目について言った事を繰り返さなければならなくなり、貴重な時間を浪費する事になります。

2 図表では、私はわずか六つの比較対照を載せただけです。他にも沢山あり、あなたはその事実をあなたの生徒に示すべきです。私はこの授業では、論点を十分確立する為に、六つのカギとなる比較対照を用います。私達はここではこの授業の提示で聖書にある全てのものを使う事は出来ません。にっちもさっちもゆかなくなり、大きい、総体的な像を十分に示すというこの学びの大切な面を、挫折させる事のない為です。題材の全ての領域にあまり多くの時間を費やすと、充てられた六時間で、その事を達成するゆとりがなくなります。

私は六つのカギとなる比較対照を選びました。それは第一目的の達成には、一般に十分であると考えます。あなたの生徒の背景や状態に依拠して、異なる、あるいはもっと多くの比較対照を用いる必要が出てくるかもしれません。私は又、それをここで示した順序で提示する事を薦めます。それが提示される順序がまさしく系統的に築き上げ、目的をうまく確立するからです。

#### B まず失せた状態と救われた状態とを比較対照しなさい。

1 第一課の終わりで、あなたは「無関係」の欄に「失せた者」と書き、「関係」の欄に「救われた者」と書きました。今、図表に示された「失せた者」の脇に、ルカ <18>

19:10を加え、「救われた者」の脇に、エペソ2:8-9を加えなさい。

2これが聖書で正しく述べられている神の専門用語である事を説明して下さい。すべての比較対照が、聖書から直接取られます。

3教師の皆様、私はこの最初の比較対照の詳述に、時間を多く費やしません。なぜなら、それぞれの新たな比較対照で、救われているという事の反対の、失われているという事の理解が、より明確になってくるからです。

C次に「罪に定められる事」と「義とされる事」との比較対照をして下さい。

1神と無関係の人々は「罪に定められる」のです。相当の欄にそれを書きながら説明して下さい。「罪に定められる」とは、基本的には法律用語である事を説明して下さい。人々が法律を破り有罪ならば、その法律により「罪に定められる」のです。

※「罪に定められる」の脇にヨハネ3:18を加え、それを引用するか読みなさい。

※ヨハネ3:18は「審かれたり」という言葉が使われている。Cでの訳語はロマ5:16に従っている。(訳者)

ここで例を示して下さい。

もし私が時速15マイルの学校地区を、時速50マイルで運転するなら、その地方の法律を犯した事になります。治安官がそこを捕らえたら、召喚状を書いて、私を留置所に引っ張ってゆくかもしれません。そうした場合は、私はその法律によって「罪に定められる」のです。霊的な意味に於ては、すべての人が神の律法を犯したのです。だから神はどの人も捕らえられたのです。こうして人は神の律法により、罪に定められました。神と無関係なすべての罪人は、その状態にあります。

2次に救われた人あるいは神との霊的關係を持っている人は、すべて「義とされる」のです。あなたは「義とされる」を欄2に書きながらそれを説明して下さい。「義とされる」もまた法律用語である事を説明して下さい。法律に違反していない人々は、その法律に対してただしい立場にあります。ロマ5:1を書きなさい。

ここで例を示して下さい。

再び時速15マイルの学校地区を、私が時速50マイルで運転する事を考えて下さい。私は治安官に逮捕され、裁判にかけられ、有罪です。罰金200ドルか、留置30日の罪に定められます。もし私にお金があれば、留置場に行きます。しかし



誰かが私の代わりに罰金の支払いを申し出て、私の為のその人の支払いを、私が受け入れるとしたらどうでしょう。その人は私の罰金を払ってくれます。そして私は自由になり、法律に対しては「義とされる」のです。一度それが支払われると、わたしは法律に対して「ただしい」のです。それはもはや私に攻撃してきません。でもそれは、私が決して法律を破らなかったのだから、無罪である、という事ではありません。違うのです！私は破ったのです。私は実際法律を破ったのです。でも誰かが私の罰金を払ってくれたのです。だから私は、その法の目から見ても義とされるのです。

それ故、あなたの生徒に、神の御前に「義とされる」という事は、人が決して悪い事をしなかったという意味ではない、と説明して下さい。その逆に、救われ、神との関係がある人々も皆、何回も悪い事をしたのです。しかし後の授業でもっと明確に解る事ですが、何が起きたのかと言いますと、神が欄2のすべての人々の為に、その罰金を払って下さり、彼らとその御支払いを受け入れたのです。こうして神の義の律法により、神は彼らを「義とされた者」とみなされるのです。

教師の皆様、有罪か無罪かは、人が「義とされる」又は「救われる」か否か、という問題ではない事を強調して下さい。問題は有罪という事が、正しく伝えられたか否かです。失せた者にはそうではなく、救われた者にはそうだ、という事です。あなたがこの授業で伝えなければならない、主要な事柄の一つは、神が善悪の行為の基準で、人類をこの二つのグループに分けられたのではない、という事実です。あなたは人々に、神の分割の基準は、彼らの罪の問題が伝えられたか否か、である事を示さなければなりません。人が自分自身の為に何をしたか、という事の基準によるのではなく、神が人の為に何をして下さったか、という基準に立ってなのです。聖書がそうであるように、あなたもこの真理を説き続けなければなりません。もともとすべての人に根強くある考えは、救われた人々はその行為が失せた人々のよりよいから救われるのであり、失せた人々が失せているのは、その行為が十分よくはないからだ、という事なのです。ほとんどの宗教がその事を教えています。自らクリスチャンと称する人々でさえ、そういう事があります。あなたはその誤った考えを、私達が吟味している神の

みことばで、系統的に崩してゆかなければなりません。あなたの一つの説明では、それは出来ないでしょう。みことばで、それをガンガン打ち続けなければなりません。最初はあなたの生徒にそっぽをむかれないように、あまり急がない事です。むしろそこにとどまり、みことばに一章節また一章節と、ねばり強くそれを叩いてもらうのです。遂に生徒が自分でその事を理解するまでです。あなたからではなく、神のみことばからです。この第二課は、救いの概念として誤った「わざ」とか「よいおこない」を持つ心の中に、スパイクを本当に深く打ち込んでゆくべきです。あなたは生徒に、神の救いの基準が「わざ」又は「善悪の行為」ではなく、神が罪人の為に十字架でなして下さったみわざへの信仰である事を、みことばから確信させるべきです。教師の皆様、あなたは第二課のこの項で、その概念の為の基礎を据えているのです。

D次に「罪の赦されていない」と「罪の赦された」を比較対照して下さい。

- 1 神と無関係な人々は、罪が赦されていないので、その状態にあるのだ、という事を説明して下さい。これを言いながら、欄1に「罪の赦されていない」と書き、使徒13：38-39を加えなさい。これは深いけれども、たやすく確立できる視点です。ちょうどあなたが設けた視点の上に、自然に建てられています。ここであなたは、すべての人が罪人であるという、注目すべき現実を指摘する事が出来ます。あなたはロマ3：23か伝道7：20のような章節を引用する事も出来ます。「無関係」欄の人々が罪人だから、という事でないのは、「関係」欄の人々と同じです。「無関係」欄の人々がそこにいるのは、唯一彼らが罪を赦されていないからです。彼らの行為が「関係」欄の人々より悪い、あるいは良いという事実は、彼らが「失せた者」という「無関係」欄の中にいる理由とは関係ありません。彼らが失せたままであるのは、ただ赦されていないからなのです。
- 2 「関係」欄に「罪の赦された」と書き、エペソ1：7を加えなさい。もう一度言いますが、確立すべき視点は、この欄の人々がそこにいるのは、唯一赦されているからだという事です。罪がないからとか、多く罪を犯さなかったから、ではありません。あなたがこの視点を教え、これらの章節で正しく示しながら、成長させるべき考え方は、善か悪の「行為」は神が人々を一方のグループ、あるいは他方のグループ



プに置く為の基準ではない、という事です。

ここで例を示して下さい。

私はこの点についてよく自分の生徒に、私の見たありふれた車のバンパー・ステッカーの事を語ります。それは単純に、こう言っています。「クリスチャンは完全ではない。ただ赦されているだけだ。」それは本当です。しかしそれはほとんどの人が掴んでいないようにみえる考えです。

E あなたの四番目の記入事項は「不義」と「義」との比較対照です。

1 この視点の教えに際し、まず欄1に「不義」と書き、脇にロマ1：18を添えなさい。不義であるとは、義でない事を説明して下さい。あなたの生徒に、私達がここで神が義と考えておられる人の事を考慮しているのであって、必ずしも人々が義と考える人の事ではない、という点を忘れさせないようにして下さい。文字通り、「不義な」人とは、神が御自身に対し義と考えられない人の事です。

2 他方、欄2の人々は「義」である、または神が御自身に対して義と考えておられる人々の事です。欄2に「義」と書き、ロマ3：22を加えなさい。

教師の皆様、この視点で、またこの比較対照の教えで、あなたには非常に力のある効果をもたらすような、卓越した機会があります。それを逸してはなりません。ロマ3：22から（そこを開いて読むか、引用する）神の「義」は全ての人に入手可能なものですが（すべての者に）、信じる人だけが実際所有する（すべての者の上）※ 事に説明して下さい。

※これは公認本文にあるだけで、永井訳より引用。（訳者）

ここで例を示して下さい。

もし地方の食料品店が、ある日午前九時から昼までのあいだに、先着千名の買手に対し、十ポンドの上等なT型骨付きビフテキを提供するとしたら、その無料提供を利用する人もいれば、そうでない人もいるでしょう。その提供は「すべての者に」でしたが、それを利用する「すべての者の上」にだけとなります。他のすべての人にとっては、提供など受けない方がよかったのです。応じなかった人は様々な理由でそうしたのでしょう。でも最低線はいつも同じです。その提供は、彼らには益とする事が出来たのですが、そうならなかったわけです。その提供に応じる事を拒ん

だ人は、それが本当である事を全く信じなかったからかもしれませんし、隠された危険があるのでは、という疑いからかもしれません。応じようとしたけれども、なにか他の用事で、行きそびれた人もいるでしょう。長い待ちの行列でがっかりした人もいたかもしれません。そのつもりだったのに、そこまで手が回らなかった人もいます。それぞれの場合でも、その最低線は同じです。ステーキが手に入らなかったのです。

同様に、神はすべての人を、御自身に対して義あるいは正しい者とする為の提供をされました。神の唯一の制限は、時間の制限だけです。この世に命ある間です。神のみもとに来て、義とされた人がいます。そうでなかった人もいます。来なかった人の中には「これが神であり聖書というものだ」という事がただ信じられない、という人もいます。その事実を受け入れながら、神の提供に乗じるところまで手が回らなかった、という人もいます。そのつもりではいるのですが、まだなのです。偽善者だから、という理由で来なかった人もいます。忙しすぎて、忘れてしまった人もいます。しかし、理由が何であれ、その最低線は同じです。彼らは皆、いまだに「不義」なのです。ロマ3：23は神の義が彼ら「すべての者に」入手可能であるけれども、イエス・キリストを個人的な救い主として信じた「すべての者の上に」だけである、と言っています。

しかし問題は、誰かが持てて、誰かが持てないこの「神の義」とは一体何か、という事です。でも、それが「神の義」で、人の義でないのは確かです。それで、欄2で義と言われた人々は、欄1の人々よりも、もっと良い行いをしたから義であると言われるのではない訳です。ロマ1：16-17は、すべての人が個人的に所有できるこの「神の義」が、「キリストの福音」の不可欠な要素である事を言っています。コリント前15：1-4は福音をキリストの死、埋葬、甦りであると定義しています。福音における神の義の行いは、神が十字架で死なれた時、その死によって罪人に代わり、罪人の罰金を払って下さった事です。神がそこで死なれる時、ペテロ前2：24によれば、罪人の為はその事をしておられたのです。ロマ6：23により、罪の為に払う価は死であるという事実を考えますと、罪人の身代わりによる救い主の死を除いては、罪人が救われ、永遠の生命を与えられる方法は、他にはま



まったくありませんでした。神はそれが真実である事を知っておられたので、イエスキリストという人格を持ってやってこられ、罪人に代わって十字架に進まれたのです。ロマ5：6，8。世の歴史において、正しい事が多く行われてきました。しかし、罪人の為に十字架で死なれるという、神の正しい行いと比較出来る人は誰もいません。それこそ墮落した人々の、たった一つの希望でした。

さて、この神の義の行いはすべての人の信用の為に提供されています。簡単な言葉で言いますと、神はその十字架での死を、キリストを信じるすべての人が持っているものとみなされるのです。あなたの生徒にロマ4：1-6を開かせて、その事を自分で理解するようにさせて下さい。その本文はいかにアブラハムが（そしてすべての人が）神の御前に義とされているのかを論じています。2節、4節と5節は、それがわざ（おこない）によるものではない事を明確に述べています。しかし、3節、5節と6節は、神の義が信じるすべての人に対し「勘定に入れられる」（私たちの言葉では、会計士の用語のような「数えられる」です。）あるいは「負わされる」（賞賛や非難もなく与えられる）事を述べています。それはすばらしい事ではありませんか！キリストのみもとにやってくるすべての罪人に対し、神は実にその（神の）義を与えて下さるのです。神の永遠の原簿へのその罪人の信用に、イエスキリストの死は帰せられるのです。神はその罪人をあたかも十字架で死んだように見られるのです。何故なら罪人は信仰による同一化で、キリストの人格において死んだからです。キリストはその罪人の為に死なれたのです。その罪人の死の価を払われたのです。ですから神が法律的にその事を見られる時、その罪人は神に対して義である、あるいは正しいのです。しかし注意して下さい。それは、その罪人がよりよいおこないによって、独力でなした事の力に基づくものではありません。神が罪人の為になして下さった事の力に基づき、神によって罪人は義と数えられるのです。

ここで例を示して下さい。

あなたの生徒にこんな風に話してみてください。誰かがあなたのもとへやってきて「私はあなたに相当な額のおかねをあげたいと思います。」と言ったと仮定します。

あなたはその人の為に働いた事は一度もありません。また1セントに価するような

何かをした訳でもありません。その人はあなたから、何の借りもありません。でもあなたは、その人と共に銀行に行き、そこで全くあなたの名前による新しい口座が開かれます。それからその係りの人はあなたが口座を開く時、いくらそこに入れたのか尋ねます。さっきの人が大声で「10万ドル」と言います。係りの人は「小切手ですか?」と尋ねます。その人は「いや、現金だ。」と答えます。そしてその人はあなたが見た事もないようなドデカイ札束を引き出し、それをデスクに置きます。背後にいるお偉方が呼ばれ、そのお金が「盗んだもの」ではなく、すべて正当なものである事が確認されます。その後、係りの人は10万ドルの預金伝票をあなたに渡し、先程の見知らぬ人は立ち去ります。突然あなたは、自分にしか触れられない10万ドルを得るのです。それを相続したのではありません。その為に働いたのでもありません。いかにもせよ、それを受けるのにふさわしかったのではありません。先程の人があなたにただで与えただけです。それをあなたの口座に帰属させたのです。

教師の皆様、大鎚で長くぎを打ち込むように、その事を深く打ち込みなさい。神は10万ドルを誰かに与えるよりも、極めて劇的で、傑出した事をして下さったのです。神はその十字架での死を、キリストによる信仰でみもとに来たすべての罪人に与えられたのです。彼らは無限に豊かです。永遠の生命を持っています。たった一つにせよ、善い事をしたからではなく、神が彼らの為にそのわざのみ力によって、その状態に置かれたのです。すべての人が義となりえます。しかし信じた人だけです。そしてその違いは、善悪のおこないではありません。違いは神の義が彼らに帰せられたかどうか、という事です。

F 次にあなたの生徒に、「不義」に留まる人々は「咎と罪とによりて死にたる者」と呼ばれ、「義」である人々は「永遠の生命」を持っている事を指摘して下さい。

1 欄 1 に「咎と罪とにて死にたる者」と書き、その脇にエペソ 2 : 1 を書きそえなさい。死んでいるという事は、分離の状態にある事だと説明して下さい。例えば、霊が体から離れる時、検死者はその実体は死んでいると言います。勿論、その人は、死すべき人間の、あるいは肉体の死を言っているのです。「咎と罪とによりて死にたる者」とは、神からの霊的分離の状態にある者のことです。その実体としては、



確かに肉体的に生きているかもしれませんが、神との交わり、または接触の根拠を持った状態にはありません。これがアダムとエバがエデンで神に対して罪を犯した時、二人が知った状態なのです。その状態に留まっている限り、神との交わりはありえません。彼らは神からの霊的分離の状態にありました。それはすべての失せた人々でも同じです。

2しかし一度人々が信仰によりキリストのもとに来るならば、「永遠の生命」が与えられます。これを欄2に加え、ヨハネ5：24を書き込みなさい。その生命が「永遠の」といわれている事を強調して下さい。この節は、信徒の永遠の保証の強調には、特に役に立ちます。私は自分の生徒にその聖書をたどらせている時は、いつもこの節を引用します。その節を吟味する時は、その中で関わりのある図表の様々な部分を示します。一度人が欄2に着いたなら、罪への定めの中に戻る事は出来ないという事実を、特に強調するのです。それは正しく、この節は直接その事を言っています。

G最後に私の比較対照表から、「永遠の火の池」と「天国」を挙げます。

1この視点では「永遠の火の池」を欄1に書き、黙示録20：14-15とで一組にしてください。教師の皆様、あなたはこの視点で少しく時間を過ごし、火の池とはどんなに恐ろしい所であるかについて、話をしなさい。私はここで多く時間をさいて、あなたにこの視点の確立のしかたを教える必要があるかどうか疑問です。

2分割の線の反対側に「天国」を加え、その脇にヨハネ14：1-3を記しなさい。天国は神のおられる所であり、すべての信徒がそこに行き、永遠に過ごします。そしてそれは、信徒がそこに行く為、善い事をし、それにふさわしいからではなく、イエスが十字架でなして下さったみわざのみ力によって、彼らが赦され、義とされ救われて、神に対し正しい者とされたからなのです。

過渡的な考え：あなたが天国の討論に到達した時、方向を第二の主要な考えに変えようとしている事を忘れないように。

II今あなたの生徒に、グループ1のすべての人が、火の池に向かっている事を教えて下さい。

A教師の皆様、あなたは六つの比較対照で、この視点を既にあらかた確立してしまいま  
<26>

した。

1でもその視点は大変大切なので、実際強調する必要があります。

2ここであなたは自分の生徒を指差して、地獄に向かってしていると告げるようなそぶりを見せないよう注意しなさい。そうであるかもしれないし、そうでないかもしれませんが、でも、もしそうなら、生徒は必ず一連の学びにおけるこの視点で、その事を理解し始めているでしょう。そしてあなたがもし忠実に聖書に留まるなら、それは生徒に、この視点について心の底まで悟らせるようになります。ですからあなたは罪に定める人になろうとしてははいけません。みことばを通し聖霊がそれをもたらして下さるようにしなさい。

3この視点では、たいてい私は再び黙示録20：14-15を引用するか、読んでみます。そしてどんな人であっても、欄1になおとどまり、死ぬべき者として死ぬのがどんなに恐ろしい事であるかを指摘します。使用するのによい他の聖書箇所は、詩9：17、テサロニケ後1：7-9、ヨハネ3：36です。しかし私はいつも、欄1の人でも欄2の人でもすべて、遅かれ早かれ死ぬべき者として死ななければならぬ事を指摘します。欄1に所属する者として死ぬか、欄2に所属する者として死ぬかは、全ての人が自分で決める事柄です。死ぬ時どちらの側にあるかは、善悪のおこないによっては決められません。信仰によって神がその人の為になして下さった事の便益を受けたかどうか、によります。

Bここはあなたの生徒に、第一課で示した事柄を思い起こさせるのによい所です。

1私達人間はうわべを見るので、他人を見て、彼らが天国へ行こうとしているのか、火の池に行こうとしているのか識別する事は出来ません。そうした事柄についての私達の判断は、おこないの基準によってせざるをえないでしょうが、それは全然そうした判断の為の正しい基準ではありません。

2しかし神は心を見られます。そしてすべての人の真の状態を知っておられます。どちらの欄あるいはグループに人々が属しているのか知っておられます。また人間が死ぬ時、そのおこないではなく、神に対する個人の関係（あるいはその欠如）に依って、その永遠の霊が天国に行くか火の池に行くかを取り計らわれる、唯一のおかたです。欄1に留まる人々が永遠の火の池を逃れるすべはありません。これがあな



たの過渡的な考えです。

Ⅲ 今グループ1のいかなる人も、自分でその状態を変え、神との正しい関係に入る為に来る事は絶対にない、という事実をあなたの生徒が理解しているかどうか、確かめなさい。

A この視点では、一度多くの人がグループ1にあって、永遠の火に向かっている事を認識したら、たいていその行いを強く改善しようとする、という事をあなたの生徒に教えて下さい。

1 この視点では図表に示してあるように、「無関係」という記入事項の下方に横線を引きなさい。それからその左を縦線でカットし、「愛」を書き入れなさい。失せた人々は愛がすばらしく、高貴な性質である事を知っているので、彼らが天国に行くには、互いに愛さなければならない、と思っている点を指摘して下さい。それで、欄2の中に入る為、多くの人が愛を付け加えます。でもそれでは十分でないと思えばプテスマも加えます。(第二の縦線を作り、プテスマを加えて下さい。) プテスマを受けるのに、誰が反対するのでしょうか? ですからあなたの生徒に、本気で救われたいと思っている人は、だいたいプテスマを受ける事を望む、と教えてください。そして本気の人には教会の活動を担いたいと思います。それでその人は会員となり、教会活動に参加し、働きもします。(第三の縦線を加え、教会と書いて下さい。) それから第四の縦線を加え、礼拝と書きながら、あなたの生徒に、救いの保証の為に祈り、施し、あらゆる礼拝行為を体験する人がいる事を教えてください。そして本気の人には奉仕もします。あなたの第五の縦線の上に、奉仕と書いて下さい。従業員、仲間、親、隣人、市民として、それを生かせたら、きつとうまくゆくだろうと考えながら、よりよい者になろうと努力する人が、どんなに多いかを話して下さい。

2 教師の皆様、あなたは今、偽の「救いの為のよきおこない」の概念の上に「ばつじるし」を書く必要があります。これがそのやりかたです。この章のおわりにある、あなたの見本の図表に示したように、図表の上に大きな横のかけを記しなさい。その上に「100パーセントのよいおこない」と書きなさい。それをしながら、あなたの生徒に「私達が100パーセント、よいおこないをしている人を見つけられ

るかどうか、ちょっと想像してみましょう。」と言って下さい。この発言は次のやり方に沿った討論への門戸を開きます。あなたの生徒に、あなたも生徒もそんな部類に属する人は誰もいない事を知っている、なぜならロマ3：23がそう言っているからだ、と告げて下さい。でもほんの仮定の目的で、100パーセントよいおこないを伴う人がいるとしてみして下さい。さてそういう人がいたとしても、その人は依然として分割線の間違った側に属する事になります。いまだに地獄行きの欄にいるのです。なぜならよいおこないは、欄1から欄2への乗り換えの基準ではないからです。人が51パーセントよい事をして、49パーセントだけ悪い事をしたから、天国へ行ける、などという事を示唆するものは、聖書のどこにもありません。さらに99パーセントの善、1パーセントの悪という割合が、その人を救うという指摘もありません。聖書はそうした人間的な、ばかげた取り引きなど全然しません。それがなす事は、救いが、罪人の為<sup>に</sup>に神が十字架で行なわれたみわざの根拠に立ってのみ可能である、という首尾一貫した主張です。善悪にかかわらず、あらゆるたぐいの人間的努力やおこないにはよらないのです。

ここで例を示して下さい。

私はこの視点を自分の生徒によくこう語る事によって示します。即ちもし私が億万長者から資金をもらったら、私自身がこのよいおこないの領域に、事細かに従いたいとおもう人々を相当数雇う事ができるでしょう。もし一人あたり日に千ドル払えば、きっと第一級の失せた罪人たちを、たくさん確保し、「クリスチャン」のような状態で私の為<sup>に</sup>に働かせる事が出来るでしょう。まあ日に千ドルという事で、彼らは喜んで什一を払い、まだ手元に900ドルあるのです。そしてそのような高い給料の仕事をしつづけて、彼らは教会の全礼拝に出席し、よく祈り、聖歌隊でうたい、何回もバプテスマを受け、めんどろを忍んですべての人を愛し、よい行いをするのです。

しかし誰でもほんの少し知覚力を備えた人なら、給料の為<sup>に</sup>によりおこないの領域を維持してゆく事が、人の本当にクリスチャンたる事を意味しないのはわかるでしょう。それはお金を得る為<sup>の</sup>の一つの仕事に過ぎず、単に「装っている」だけです。視点は明確です。よいおこないの輝かしい展示は、人が神との正しい関係にある事を



確かに示すものではありません。人は救われた者よりも、もっと信心深くふるまえるのです。でもやはり失せており、火の池に向かっているのです。神は心のまことの状態を見ておられます。うわべのおこないの数々ではありません。もし心が神の犠牲的な備えによって正しくされていれば、その人はグループ2にいます。そうでないならば、その人は実行しているかもしれない、高水準のよいおこないにもかかわらず、グループ1にいるのです。

教師の皆様、あなたがここでしている事を覚えて下さい。あなたは自分の生徒でも持ちそうな、救いに関する業とよいおこないの考えを、排除しようとしているのです。あなたの目標は生徒に自分自身の能力に頼る事を諦めさせ、イエス・キリストに頼り、彼を受け入れるような精神的立場に置く事です。イエス・キリストについては、あなたが次の二つの授業で、救いについての解答として提示する事になります。それで、あなたはここでは基本的な土台を確立しているのです。誤った自力による救いの概念の土台を、聖書によって崩してゆくだけでなく、救いへの解答がイエス・キリストにあるという、既に繰り返し示唆してきた事柄によってもです。

ここでもう一度例を示して下さい。

この視点の教えが、おこないの加算やわざとらしい演技の役割を扱ってきているので、この例は特に啓蒙的なものとなっています。

私は自分の生徒にこんなふうに話します。私があるあなたに「ジョー、君の庭にペカンペカンの木を植えてあげようとおもうのだが、どうだい？」と言ったと仮定してみてください。するとあなたはこう言うかもしれません。「やあ先生、それはいいですね。わたしは長い間、あの前の右の隅にいい木がほしいと思っていたんです。」それでわたしは「よし、来週一時間か二時間早く来て、その木を植えてやろう。」と言います。あなたは「いらして下さい。私はここに来て正確にどこに植えたらよいか、お教えしましょう。」と答えます。

それで私は来週決められた時間に来て、ペカンの木を植える準備をし、こう言います。「O. K. ジョー。どこがいいんだい？」あなたは「ここです、先生。」とこたえます。私は自分の車の所に行って、シャベル、鉢植えの土、根を刺激するものパーライトそれに穴を掘って木を植えるのに必要なすべてのものを選びだします。

あなたは私が穴を掘って、実際の植樹の為、すべてを整えるまで、そこに立って、眺めています。それから私は言います。「すぐ戻ってくるから。」そして私は車の所に行って、一群の良質なペカンの木の根を持って戻ってきます。私はそれを、根を刺激する溶剤にひたし、それから穴の中にきちんと並べます。私は言います。「ジョー、君は実際この木のようになるんだ。それは優れたもので、スチュワートの※ペカンだ。(※品種の一つ) 本当によい品種だよ。ちょっと待っていてくれ。その木の幹を持って戻ってくるから。」さてさて、これまでにあなたは私が気が狂いはじめ、極端なところまで行ってしまった、と思うようになりだしたでしょう。でもあなたは眺めています。果たせるかな、私は木の幹を持って車から戻ってきます。そしてそれをきちんと斜めに切って、根にもつけておいた傾斜に合わせます。幹を根に接ぎ、二つの部分をしっかりテープで結び、鉢植えの土を混ぜたものを、適当にしたら、根を刺激する溶剤をもっと注ぎます。それから私は言います。「ちょっと待って。大枝をとってくるから。」そしてあなたの不信にもかかわらず、私は一群のよい大枝を持って戻り、それを木の適当な位置にテープで結び、針金で固定します。私は言います。「実際さまになってきたじゃないか。すばらしい木になるぞ。長いよい大枝もついで、八フィートもの高さだ。(※約2.4メートル) 葉を持ってこよう。そしてあなたは、私が緑のペカンの葉の入った袋を持って戻り、その木のあらゆる適当な箇所クリップで留めてゆくのを、全くショックを受けながら、眺めています。そして私は言います。「ジョー、私は実を結ばない木など君にあげたくない。だからこのペカンの実を持ってきたよ。」そして案の定、私は木にペカンの実をクリップで留め始めます。それからこう言います。「ジョー、これならどうだい？」私達は友達ですから、あなたは努めて面白そうにします。でもこう言います。「先生、それがうまくゆくなんて信じられません。」そして私は言います。「なぜだい、ジョー。ペカンの木が持つべきすべてのものがそろっているのに。それに結構なものに見えるじゃない？」でもあなたは言います。「先生、そりゃ、うわべはよく見えますよ。でもその木に欠けているものが一つだけあります。そしてそれが主要な要素なんです。それは生命じゃないですか。」そしてその時私は生徒に言います。「君は全く正しい。その木には生命が欠けてい



る。君は木をたてるのにその外面的な、目に見える部分をすべて備え、それらを生  
命を生じるよう願いながら、組み立ててゆくのではない。そうではなく、もし君が  
木を得たいのなら、全くその逆の事が必要な訳だ。生命から始めるのだ。即ち、種  
とか、既に生命のある木からだ。君はそれを植え、そのあと、ゆくゆくは外面的な  
兆候がでてくる。幹、枝、葉そして最後には実だ。」それから私は生徒に、これが  
まさにクリスチャンになるという事だと説明します。まず救われる事。そして神の  
家族となる事です。うわべの兆候を身に着け、救いに等しいと考える人が多くいま  
す。彼らは教会に行き、バプテスマを受け、善い人となり、その善が悪を補ってあ  
まりあるように念を押しているのです。でも人の命に加えられたそれらのものが、  
その人を救われた者としめない事は、根、幹、枝、葉そしてペカンの実を加える事が  
ペカンの木とならない事と同じです。彼らは皆すばらしく、すてきな人々です。で  
も彼らは生命を生みだしません。霊的には、その正反対の事が必要なのです。神は  
人が救われる為に、生命から始めなければならない事を言っておられます。それは  
新生から生じる事です。後の授業でみることにしましょう。一度人が生命を持て  
ば、その人は神との関係があります。あるいは囀2に属します。それからよいわざ  
や他のクリスチャンとしての兆候が生じてきます。わざとらしく身に着けるのでは  
なく、新生したクリスチャンが成熟するにしたがって、自発的かつ自然に身に着け  
るのです。

教師の皆様、この真理を深く打ち込んで下さい。出発点は生命です。もっとよきお  
こないの追加ではありません。

B 今あなたの生徒に、神のみことばがあなたの言っている事を確認している、と教えて  
下さい。

- 1 あなたがこれらの聖書箇所を引用するか、めくる時、それをこの授業の最後の所にある見本の図表で示したように、図表のその場所に書いていって下さい。私はたい  
ていこの順序で聖書箇所を示します。そして進むにつれて、各節の「わざによらな  
い」面を手短かに注釈し、強調します。それらはエペソ2：8-9、テトス3：5、  
イザヤ64：6とロマ4：5です。私はよく、この事はあなたが多くの教会で聞く  
のとは反している、という点を指摘します。教会は時々、よりよく生き、忠実に、

宗教活動をしてゆけば、どうか救いが得られる、という事をほのめかす傾向があります。でも神はきっぱりと、そうではないと言われます。そしてあなたの生徒に神の言われる事が実際に重要である、という点を思い起こさせて下さい。神のみことばは、私の見解、あなたの見解、教会の見解、教皇の見解、母の見解、またはどんな人の見解よりも、大切なものなのです。そして神は、人が自分の努力やおこないによってグループ1からグループ2に移る事は絶対に出来ない、と言われます。もし人がグループ1からグループ2に到る事が出来たとするなら、それは他の誰かがその人をそこに置いたからであって、自分で成した事によってではないのです。

2 この視点に関しては、見える記号として大きなぼつじるしを、業とか、よきおこないの区画全体につけなさい。それはこの方法が救いの手段として、あるいは誰かをグループ1からグループ2に移す手段として、有効ではない事を示す為です。教師の皆様、あなたはグループ1にいる事が絶望的な状態である事を指摘し、ここでこの授業を終えて下さい。それは人がその状態から助からない、救助されない、救われない、という意味ではありません。なぜなら人はそれが可能だからです。でもそれは、人が自力では出来ないということです。人の唯一の希望は、他の誰かがその人の為に、必要としている事をやってあげることです。人は自分を救う事が出来ません。もし救われるとするなら、他の誰かがその人を救ってあげなければなりません。

◎あなたが去る時に。

- 1 あなたの生徒に、次週の授業の主題は「失せた世の為に神がなして下さった事」としてと伝えて下さい。その授業は神がどうして人をグループ1からグループ2に移すことの出来る御方であるかを示す事になる、と説明して下さい。
- 2 もう一度あなたの生徒に、函に対応できるように注意してあげて下さい。またあなたも次週にはそれにもっとつけ加えられるように。
- 3 いつも生徒を教会に招きなさい。
- 4 立って玄関まで進み、親しみを込めてさよならを言って下さい。



# 神

サムエル前 16 : 7

ロマ 14 : 11 - 12

ロマ 2 : 2

ヨハネ 17 : 17

1 構成

2 預言

3 聖書の主張

ペテロ後 1 : 21

テモテ後 3 : 16

コリント前 2 : 9 ~

10

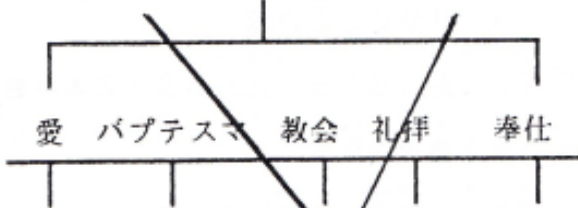
## 無 関 係

- 1 失せた者  
ルカ 19 : 10
- 2 罪に定められる  
ヨハネ 3 : 18
- 3 罪の赦されていない  
使徒 13 : 38 - 39
- 4 不義  
ロマ 1 : 18
- 5 咎と罪とにて死にたる者  
エペソ 2 : 1
- 6 永遠の火の池  
黙示録 20 : 14 - 15

## 関 係

- 1 救われた者  
エペソ 2 : 8 - 9
- 2 義とされる  
ロマ 5 : 1
- 3 罪の赦された  
エペソ 1 : 7
- 4 義  
ロマ 3 : 22
- 5 永遠の生命  
ヨハネ 5 : 24
- 6 天国  
ヨハネ 14 : 1 - 3

100パーセントよいおこない



エペソ 2 : 8 - 9  
テトス 3 : 5  
イザヤ 64 : 6  
ロマ 4 : 5

- 1 祈り
- 2 賛美
- 3 施し
- 4 宣教
- 5 主の晩餐

## 第二課の為の学習紙と授業計画

### 主題

神との悪い関係から生じる絶望

### 意図

神との関係を持たない人は、自分自身を救う事の出来ない永遠に不幸な状態にあります。

### 適用

生徒に、行いは神が世を二つの区画に分けられる基準ではない、という事実を理解させる事です。また神のみことばから、神との関係のない人は無力で、自分からその関係に持ってゆく事は出来ない、という点を示す事です。

### 暗記すべき聖書の諸節

エペソ 2 : 8 - 9 「汝らは恩恵により、信仰によりて救はれたり、是おのれに由るにあらず、神の賜物なり。行為に由るにあらず、これ誇る者のなからん為なり。」

ロマ 3 : 21 - 22 「されど今掟を離れて神の義は、掟と預言者等とより証せられつつ顕はされたり。即ち神の義はイエスキリストの信仰によりて、信ずるすべての者のうちに、また信ずるすべての者の上に顕はされたり、それは少しも差別あらざればなり。」 (永井訳)

ロマ 4 : 4 - 5 「それ働く者への報酬は恩恵といはず、負債と認めらる。されど働く事なくとも、敬虔ならぬ者を義としたまふ神を信ずる者は、その信仰を義と認めらるるなり。」

ヨハネ 5 : 24 「誠にまことに汝らに告ぐ、わが言をききて我を遣し給ひし者を信ずる人は、永遠の生命をもち、かつ審判に至らず、死より生命に移れるなり」

テトス 3 : 5 - 6 「我らの行ひし義の業にはよらで、唯その憐憫により、更正の洗と我らの救主イエス・キリストをもて、豊に注ぎたまふ聖霊による維新とにて我らを救ひ給へり。」



概 略

I 神は二つの基本的なグループを、いかに比較対照されるでしょうか。

A 「失せた者」ルカ19：10と「救われた者」エペソ2：8-9を比較対照しなさい。

B 「罪に定められる」ヨハネ3：18と「義とされる」ロマ5：1を比較対照しなさい。

1 「罪に定められる」と「義とされる」は法律用語。

2 「罪に定められる」の例。学校地区でのスピード。

3 「義とされる」の例。誰かが私の罰金を払ってくれる。

C 「罪の赦されていない」使徒13：38-39と「罪の赦された」エペソ1：7を比較対照しなさい。

1 人が占めるグループの違いは有罪か無罪ではなく、罪を赦されたかそうでないかによって決められる事を強調して下さい。

2 例。バンパーのステッカー「クリスチャンは完全ではない。ただ赦されているだけだ」

D 「不義」ロマ1：18と「義」ロマ3：22を比較対照しなさい。

1 ここのカギ。「義」は神の御意見では、人がするよいおこないによって確立されるのではなく、人の霊的な預金口座に持っているとみなされる、神の正しいご行為（十字架でのキリストの死）によってなのです。

2 例。地方食料品店のT型骨付きピフテキの無料提供。

3 罪人の手に入れられる神の義のご行為は、彼らの身代わりとしてのその十字架での死である事を説明して下さい。視点確立の為の、この順序で用いる聖書箇所はロマ3：22、ロマ1：16-17、コリント前15：1-4、ペテロ前2：24、ロマ6：23、ロマ5：6-8、ロマ4：1-6です。

4 例。あなたに与えられた大金。

E 「咎と罪とにて死にたる者」エペソ2：1と「永遠の生命」ヨハネ5：24を比較対照しなさい。

1 死が分離の状態であり、失せた者は神から分離している事を説明して下さい。

2 ヨハネ 5 : 24 を読み、図の適当な視点を示して下さい。

F 「永遠の火の池」黙示録 20 : 14 - 15 と 「天国」ヨハネ 14 : 1 - 3 を比較対照しなさい。

過渡的な考え：天国に関するあなたの討議。

II グループ 1 のすべての人が火の池に向かっています。

A 永遠の火の池は恐るべきながめです。黙示録 20 : 14 - 15、詩 9 : 17、テサロニケ後 1 : 7 - 9、ヨハネ 3 : 36。

B 神は外見に関わりなく、誰がそこに向かっているのかを知っておられます。

過渡的な考え。グループ 1 の人々が火の池を逃れるすべはありません。

III グループ 1 の人はその関係を変える事が出来ません。

A たいていの失せた人々は、自分の状態や定めを理解すると、そのおこないを改善しようとしています。

1 五つの主要なやりかた。愛、バプテスマ、教会、礼拝、奉仕。

2 例。日に千ドルでクリスチャンのような人を雇う。

3 例。無からたてたペカンの木。生命がない。

B 神のみことばの確認。

1 この聖書箇所を見なさい。エペソ 2 : 8 - 9、テトス 3 : 5、イザヤ 64 : 6、ロマ 4 : 5

2 「救いの為のよきわざ」の概念にばつじるしを付けなさい。

結論的な考え。あなたは次週の授業で、自分自身を助ける事の出来ない人がどのようにして、助けられるのかを説明するのです。その授業の主題は「失せた世の為に神がなして下さった事」です。